

調査資料

「那須雪崩事故調査票 3」

【天候関係】

第1班 (大田原高校)	菅又久雄	……	p	1
第2班 (真岡高校)	渡辺浩典	……	p	3
第3班 (矢板東高校・那須清峰高校)	澤村哲史	……	p	5
	本嶋佑己	……	p	7
	手塚勝紀	……	p	9
第4班 (矢板中央高校・宇都宮高校)	高秀大作	……	p	11
		……	p	13
第5班 (真岡女子高校・矢板東高校)	小林朋生	……	p	15
待機	(大田原高校) 猪瀬修一	……	p	17
	(宇都宮高校) 池間明德	……	p	19
1, 2日目参加者	(大田原高校) 若林徹大	……	p	21
	(矢板東高校) 関谷恭弘	……	p	23
	(宇都宮東高校) 島田幹男	……	p	25
	(さくら清修高校) 後藤 尚	……	p	27
	(さくら清修高校) 吉澤順一	……	p	29
1日目参加者	(宇都宮女子高校) 早川大介	……	p	31
2日目参加者	(大田原女子高校) 荒井 徹	……	p	33

那須雪崩事故調査票 3

勤務校 (真岡高等学校) 職・氏名 (教諭 菅又 久雄)

【天候関係】

- 1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。
天気予報から講習会期間中の26日(日)午後から27日(月)朝にかけて天気が崩れることを確認しあつた。
雪崩注意報については、春の時期に出ていることも多く、その事ですぐに判断出来ないことが多いのが現状であつた。
- 2 今回の講習会期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握してましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。
天気が崩れることは知っていたが、ラジオ等では那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは知らなかつた。
- 2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。
各班ばらばらでの解散になったため、この日の実技講習終了時に委員長猪瀬、実技講習 CL 菅又、前委員長渡辺の3人(登山経験が長い者)で、次の日の行動について27日朝6:00の様子を見て決めることにした。
- 3 当日の気象状況や積雪の状況など、ラッセル訓練が実施可能と判断した根拠は何でしたか。
当日朝の時点で、前日からの積雪は私たちの感じでは15cmであつた。風もあまりなく雪もほとんど降っていなかつた。過去の冬山や春山でも降雪後・降雪中実施していることもあつた。
- 3-2 判断した時(判断を聞いた時)、スキー場上部の山はどこまで目視することができましたか。
スキー場第1ゲレンデ中央付近の大木およびそのかなり先まで目視できたが、上部の山はかすんでいた。
- 4 ラッセル訓練を指導した班のおよその出発時刻はいつ頃で、その時の雪の様子と風の強さなどはどの程度でしたか。
7:30に集合し、各班とも7:50にセンターハウス前を出発した。
雪はパラパラ降っている程度で、風も弱かつた。
- 4-2 出発時にスキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場の上部の山は、どこまで目視することができましたか。
スキー場第1ゲレンデ中央付近の大木およびそのかなり先まで目視できたが、上部の山はかすんでいた。

5 ラッセル訓練開始後に天候が変化したと感じたところがありましたか。あったとすればどのように変化したと感じましたか。そのように感じた場所はどの辺りでしたか。その時ラッセル訓練の継続についてどのように考えましたか。また、この際に雪崩が起きた山の上の方は見えていましたか。

開始後、それほど天候の変化を感じなかった。

雪崩後、救出されている間に天候が悪化したと感じている。

那須雪崩事故調査票 3

勤務校 (真岡高校) 職・氏名 (教諭 渡辺浩典)
現任校：栃木高校

【天候関係】

- 1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。
 - ・沢筋や、樹林のない大きな急斜面では危険性があると考えた。
- 2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。
 - ・把握していなかった。
- 2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。
- 3 当日の気象状況や積雪の状況など、ラッセル訓練が実施可能と判断した根拠は何でしたか。
 - ・風はあまりなく、雪の降り方も強くはなかった。
- 3-2 判断した時（判断を聞いた時）、スキー場上部の山はどこまで目視することができましたか。
 - ・上部の山は見えなかった。樹林帯上部の平坦部付近までが見えた。
- 4 ラッセル訓練を指導した班のおよその出発時刻はいつ頃で、その時の雪の様子と風の強さなどはどの程度でしたか。
 - ・8時頃に出発したと思われる。
 - ・雪は降っていたが、強い降り方ではなく、風もあまりなかった。
- 4-2 出発時にスキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場の上部の山は、どこまで目視することができましたか。
 - ・スキー場はほぼ全域が見渡すことができました。
 - ・スキー場上部の山は見えていなかった。樹林帯上部の平坦部あたりまでが見え、それより上は見えていなかった。
- 5 ラッセル訓練開始後に天候が変化したと感じたところがありましたか。あったとすればどのように変化したと感じましたか。そのように感じた場所はどこでしたか。その時ラッセル訓練の継続についてどのように考えましたか。また、この際に雪崩が起きた山の上の方は見えていましたか。
 - ・スキー場から尾根上の平坦部に上りきったところで、上部に出て風があたるようになったからか、それとも風自体が出てきたのかは分からないが、登っているときよりも風が吹いてきたように感じた。
 - ・訓練の続行は止め、下山を開始することを決めた。
 - ・下山を開始する際に、上部を少しだけ見た。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 3

勤務校 (矢板東高校) 職・氏名 (教諭・澤村哲史)

【天候関係】

- 1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。
 - ・逐一気象情報をチェックしていたので、注意報が出ているという情報としては認識していた。また1日目が比較的あたたかかったので雪が溶け、2日目に降雪が多くあったことから、雪崩の可能性は認識していた。

- 2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。
 - ・講習に参加する前から気象情報は1週間前くらいから毎日テレビやインターネットで確認していた。また講習中も朝と晩はインターネットで確認していた。

- 2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。
 - ・検討する立場にはなかった。26日の15時頃の時点で3日目は予定通り茶臼岳登山を実施するということがあった。それ以外の選択肢は、26日の時点では聞いていない。

- 3 当日の気象状況や積雪の状況など、ラッセル訓練が実施可能と判断した根拠は何でしたか。
 - ・実施可能と判断した立場はなかったが、積雪が膝くらいまであったので、2日目にやった雪上訓練の実践としてラッセル訓練を実施することにしたのだと思う。

- 3-2 判断した時(判断を聞いた時)、スキー場上部の山はどこまで目視することができましたか。
 - ・その時点では確認してはいない。

- 4 ラッセル訓練を指導した班のおよその出発時刻はいつ頃で、その時の雪の様子と風の強さなどはどの程度でしたか。
 - ・8時5分頃だと思う。雪は弱まっていた。風も強くなかったと思う。

- 4-2 出発時にスキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場の上部の山は、どこまで目視することができましたか。

・スキー場の全体をよく見渡せ、林の手前にある大きな一本木や、その奥にある林もよく見えた。スキー場上部の山もよく見えていたと思う。

5 ラッセル訓練開始後に天候が変化したと感じたところがありましたか。あったとすればどのように変化したと感じましたか。そのように感じた場所はどの辺りでしたか。その時ラッセル訓練の継続についてどのように考えましたか。また、この際に雪崩が起きた山の上の方は見えていましたか。

・大きく変化したことはなかったと思う。林の中を登るにつれ雪が収まってきたと思う。雪崩直前に休憩したところでは、雪がやみ（またはかなり収まり）風もなかった（または微風）と思う。休憩した付近からは、林の上の木がない部分は正面によく見え、天狗の鼻と思われる岩も確認できた。

那須雪崩事故調査票 3

勤務校 (那須清峰高等学校) 職・氏名 (教諭 本嶋 佑己)

【天候関係】

- 1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。
3日間を通して、講師の先生方の判断に任せていたということがあるので、認識していませんでした。
- 2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。
把握していません。気象情報の確認と判断は本部または主任講師がするものと認識してました。
- 2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。
- 3 当日の気象状況や積雪の状況など、ラッセル訓練が実施可能と判断した根拠は何でしたか。
判断する立場にありませんでしたので、分かりかねます。
- 3-2 判断した時(判断を聞いた時)、スキー場上部の山はどこまで目視することができましたか。
目視していません。スキー場から出ることは知りませんでした。
- 4 ラッセル訓練を指導した班のおよその出発時刻はいつ頃で、その時の雪の様子と風の強さなどはどの程度でしたか。
私の所属した3班は8時45分ごろに出発したと記憶しています。雪と風はやや強くなってきたと記憶しています。
- 4-2 出発時にスキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場の上部の山は、どこまで目視することができましたか。
スキー場はゲレンデ内全てを見渡せたと思います。上部の山は樹林帯の終わりまでだと記憶しています。
- 5 ラッセル訓練開始後に天候が変化したと感じたところがありましたか。あったとすればどのように変化したと感じましたか。そのように感じた場所はどこでしたか。その時ラッセル訓練の継続についてどのように考えましたか。また、この際に雪崩が起きた山の上の方は見えていましたか。
樹林帯を抜けたあたりから、風が強くなったと感じました。上の方ははっきりと見えていたとは言い難いです。継続に関しては難しいのではないかと少し感じました。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 3

勤務校 (那須清峰高等学校) 職・氏名 (実習助手 手塚 勝紀)

【天候関係】

- 1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。
携帯電話の天気ニュースを利用していました
- 2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。
最終日の前日夜に携帯ニュースで知りました
- 2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。
意見することはありませんでした
- 3 当日の気象状況や積雪の状況など、ラッセル訓練が実施可能と判断した根拠は何でしたか。
わかりません
- 3-2 判断した時(判断を聞いた時)、スキー場上部の山はどこまで目視することができましたか。
覚えていません
- 4 ラッセル訓練を指導した班のおよその出発時刻はいつ頃で、その時の雪の様子と風の強さなどはどの程度でしたか。
7時40分頃 雪はやや強かったです 風は強くありませんでした
- 4-2 出発時にスキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場の上部の山は、どこまで目視することができましたか。
覚えていません
- 5 ラッセル訓練開始後に天候が変化したと感じたところがありましたか。あったとすればどのように変化したと感じましたか。そのように感じた場所はどこでしたか。その時ラッセル訓練の継続についてどのように考えましたか。また、この際に雪崩が起きた山の上の方は見えていましたか。
覚えていません

那須雪崩事故調査票 3

勤務校 (黒磯高等学校) 職・氏名 (常勤講師 高秀大作)
当時 矢板中央高等学校

【天候関係】

- 1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。

雪は多かったが、現場での雪崩の危険性は認識していなかった。

- 2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。

2日日夜6時～7時ごろだったかと思うが、テント内で天気予報を確認した。

スマートフォンの天気アプリ tenki.jp で天気図や予報を確認した。

雪崩注意報が出ていることは、そのときに知った。注意報について、他の顧問や講師と共有することはありませんでした。(委員長や CL は知っていると思いました)

- 2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。

注意報そのものは3月末の山ではよくあることだと思います。

検討については、実施の有無などの判断する立場ではありません。

- 3 当日の気象状況や積雪の状況など、ラッセル訓練が実施可能と判断した根拠は何でしたか。

判断する立場ではありません。

- 3-2 判断した時(判断を聞いた時)、スキー場上部の山はどこまで目視することができましたか。

幕営地から、グレンデ付近は見えた。樹林帯の上部や尾根、山頂を目視できていたかどうかは記憶にありません。

- 4 ラッセル訓練を指導した班のおよその出発時刻はいつ頃で、その時の雪の様子と風の強さなどはどの程度でしたか。

指導した班は4班で、レストハウスを出発したのは7:40～50頃と思います。(時計を見ていなかったので確実な時間は不明)そのときは、雪はぱらつく程度であり多くなかったと思います。風は感じませんでした。

- 4-2 出発時にスキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場の上部の山は、どこまで目視することができましたか。

レストハウスからグレンデ上部まで見ることができました。樹林帯も目視できていました。それ以上の尾根や山は記憶にありません。

- 5 ラッセル訓練開始後に天候が変化したと感じたところがありましたか。あったとすれ

ばどのように変化したと感じましたか。そのように感じた場所はどの辺りでしたか。その時ラッセル訓練の継続についてどのように考えましたか。また、この際に雪崩が起きた山の上の方は見えていましたか。

ラッセル訓練開始後から休憩するまで、天候の変化を感じたところはありませんでした。休憩時に、レストハウスが視界下方に目視できていました。

雪崩発生前（どのくらい前だったのかは不明）には、尾根の上の方にガスがかかっているのを目視しました。

那須雪崩事故調査票 3

勤務校（矢板中央高等学校） 職・氏名（ ・ ）

【天候関係】

1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。

春先は常に雪崩の危険性があるので、この日だけが特別危ないという認識はありません

2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。

週間予報で最初に確認していました。ラジオの天気予報で26日・27日の天気予報は聞いておりました。(27日当日は天気予報の時間に合わずに聞いていません)

2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。

特に翌日の予定や打ち合わせに参加しておりません

3 当日の気象状況や積雪の状況など、ラッセル訓練が実施可能と判断した根拠は何でしたか。

実施可能と判断した本人ではありませんのでわかりません

3-2 判断した時(判断を聞いた時)、スキー場上部の山はどこまで目視することができましたか。

雪は降っていましたが、スキー場のコースは上部まで目視できました

4 ラッセル訓練を指導した班のおよその出発時刻はいつ頃で、その時の雪の様子と風の強さなどはどの程度でしたか。

先頭が出発した時間はわかりませんが、私のいた4班は7時35分以降の出発であったと記憶しています。出発前に装備の確認を行いました。宇都宮高校の生徒に装備に不足があったので、出発が他の班よりも遅くなり、最後尾の出発になりました。天候については、雪は降っていましたが、荒れている状態ではありませんでした

4-2 出発時にスキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場の上部の山は、どこまで目視することができましたか。

スキー場の位置的に茶臼岳の頂上などは晴れていても見えないと思うので、とりあえずスキー場のコースは上まで目視できていました

5 ラッセル訓練開始後に天候が変化したと感じたところがありましたか。あったとすればどのように変化したと感じましたか。そのように感じた場所はどの辺りでしたか。その時ラッセル訓練の継続についてどのように考えましたか。また、この際に雪崩が起きた山の上の方は見えていましたか。

ラッセル訓練中は天候が崩れた記憶はありません。天候が大きく崩れだしたのは雪崩が起こった後と記憶しています。雪崩が起きた山の上の方は位置的に見えません。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 3

勤務校（ 真岡女子高 ） 職・氏名（ 教諭・小林朋生 ）

【天候関係】

- 1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。

3日目の朝に渡辺先生から話を聞くまで雪崩の危険性は認識していませんでした。

- 2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。

1日目の講師打合せ時に部屋にテレビがあったので、そのとき天気予報で2日目と3日目の雪の予報は確認していました。大雪の情報までは確認できていませんでした。

- 2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。

大雪の情報は把握していませんでした。

3日目の講習内容については、猪瀬委員長たちが当日の様子を見て検討することになっていたと思います。

- 3 当日の気象状況や積雪の状況など、ラッセル訓練が実施可能と判断した根拠は何でしたか。

訓練開始時は雪は降っていたが、ほぼ無風状態で視界も良好でした。

スキー場内をラッセルしながら歩く分には問題ないと判断したのだと思います。

- 3-2 判断した時（判断を聞いた時）、スキー場上部の山はどこまで目視することができましたか。

天狗の鼻といわれる大岩は目視できました。茶臼岳山頂は雲がかかり目視できていなかったと記憶しています。

- 4 ラッセル訓練を指導した班のおよその出発時刻はいつ頃で、その時の雪の様子と風の強さなどはどの程度でしたか。

ラッセル訓練を開始した時刻は7時40分頃で、雪は膝が隠れる程度の深さがあり、少し風が出てきた程度でした。

- 4-2 出発時にスキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場の上部の山は、

どこまで目視することができましたか。

天狗の鼻といわれる大岩は目視できました。茶臼岳山頂は目視できていなかったと記憶しています。

- 5 ラッセル訓練開始後に天候が変化したと感じたところがありましたか。あったとすればどのように変化したと感じましたか。そのように感じた場所はどの辺りでしたか。その時ラッセル訓練の継続についてどのように考えましたか。また、この際に雪崩が起きた山の上の方は見えていましたか。

女子隊の第5班は男子隊と異なり、第1ゲレンデ方向に進みました。センターハウスから第1ゲレンデに向かう途中、開始10分後くらいから風が強くなってきて、雪が顔に当たると痛いと感じるようになってきました。第1ゲレンデ付近ならラッセル訓練は可能だと思いました。第1ゲレンデ付近からは樹林帯により山の上の方はまったく見えませんでした。

那須雪崩事故調査票 3

勤務校（大田原高校） 職・氏名（教諭 猪瀬修一）

【天候関係】

- 1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。
 - ・雪の予報が出ており、実際に雪が降り、かなりの降雪があったと思われるが、この講習会では、雪崩の可能性がある場所にはいかないと認識していた。

- 2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。
 - ・1日目の講師打ち合わせ時のテレビの天気予報
 - ・2日目のテレビの天気予報
 - ・3日目の朝のスマートホンにおける那須地区の天気予報
 - 講習会中、雪が降ることは認識していた。

- 2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。
 - ・26日の時点では検討していない。

- 3 当日の気象状況や積雪の状況など、ラッセル訓練が実施可能と判断した根拠は何でしたか。
 - ・現場(テン場)にいた先生の判断と、雪もさほど強くなく、スキー場周辺での短い時間での訓練であれば可能であると判断しました。

- 3-2 判断した時（判断を聞いた時）、スキー場上部の山はどこまで目視することができましたか。
 - ・見ていたとは思いますが、あまり記憶にありません。

- 4 ラッセル訓練を指導した班のおよその出発時刻はいつ頃で、その時の雪の様子と風の強さなどはどの程度でしたか。
 - ・8時ごろ出発したと記憶している。それぞれの班が出発するのと同時に、車に戻りました。雪の状態と風の強さはさほどではなかったと思います。

- 4-2 出発時にスキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場の上部の山は、どこまで目視することができましたか。
 - ・見ていたとは思いますが、あまり記憶にありません。

- 5 ラッセル訓練開始後に天候が変化したと感じたところはありませんでしたか。あったとすればどのように変化したと感じましたか。そのように感じた場所はどの辺りでしたか。その時ラッセル訓練の継続についてどのように考えましたか。また、この際に雪崩が起きた山の上の方は見えていましたか。
 - ・本部にいたので、訓練中のことはわかりません。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 3

勤務校（ 宇都宮高等学校 ） 職・氏名（ 教諭 池間明德 ）

【天候関係】

- 1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。
(那須岳に限らず、条件が揃えば雪崩が発生してもおかしくはないと漠然と考えていた。)
- 2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。
(期間中、県防災メール、携帯サイト『お天気ナビゲータ』(日本気象)により把握。)
- 2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。
(講師ではないため、参加する立場にない)
- 3 当日の気象状況や積雪の状況など、ラッセル訓練が実施可能と判断した根拠は何でしたか。
【以下の3～5の設問について、訓練に参加していないので記入できない】
- 3-2 判断した時(判断を聞いた時)、スキー場上部の山はどこまで目視することができましたか。
- 4 ラッセル訓練を指導した班のおよその出発時刻はいつ頃で、その時の雪の様子と風の強さなどはどの程度でしたか。
- 4-2 出発時にスキー場はどこまで見渡すことができましたか。スキー場の上部の山は、どこまで目視することができましたか。
- 5 ラッセル訓練開始後に天候が変化したと感じたところがありましたか。あったとすればどのように変化したと感じましたか。そのように感じた場所はどの辺りでしたか。その時ラッセル訓練の継続についてどのように考えましたか。また、この際に雪崩が起きた山の上の方は見えていましたか。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 3

勤務校（栃木県立大田原高等学校） 職・氏名（教諭・若林 徹大）

【天候関係】

1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。

自分の力量では判断できなかった。

2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。

把握していなかった。

2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。

3から5までは、「参加していなかった」と回答。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 3.

勤務校（栃木県立矢板東高等学校） 職・氏名（ 教諭・関谷 恭弘 ）

【天候関係】

1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。

雪崩の危険性を認識していなかった。

2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。

テレビ等の天気予報で、雪崩注意報が出ていることは知っていた。

2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。

天気によっては、予定を変更するかもしれない。当日の状況を見て判断する。

以下、記載なし。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 3

勤務校（宇都宮東高校 ） 職・氏名（教諭 島田 幹男 ）

【天候関係】

1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。

2日目の講習会では雪は安定していた感じですが、3日目については現場にいませんのでわかりません。

2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。

私は把握していませんでした。

2-2から5までは、「現場にいませんのでわかりません」と回答。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 3

勤務校（栃木県立さくら清修高等学校） 職・氏名（教諭・後藤 尚）

【天候関係】

1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。

2日目については、天候は曇りで積雪は概ね安定しており、講習を行った県営駐車場上の斜面では雪崩の危険は無いと判断した。

3日目は参加していないので認識は無い。

2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。

26日午後から天候は下り坂であるとの情報は得ていた。情報源は天気予報。

2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。

26日夕方には下山したのでそれ以後の天候に対する認識は特になかった。

3から5までは、「27日は参加していないのでお答えできません」と回答。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 3

勤務校（栃木県立さくら清修高等学校） 職・氏名（教諭・吉澤 順一）

【天候関係】

- 1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。
→予め天気図や天気予報によって講習会期間中に降雪量が多いことは予測していた。
状況によっては雪崩が起きてもおかしくないと思っていた。
- 2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。
→把握していなかった。以下（2-2）同じ。
- 3 当日の気象状況や積雪の状況など、ラッセル訓練が実施可能と判断した根拠は何でしたか。
→判断する立場になかった。（下山していた。）以下（3-2から5まで）同じ。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 3

勤務校（ 宇都宮女子高校 ） 職・氏名（ 教諭 早川 大介 ）

【天候関係】

1 から 5 まで、「初日の講話・学科講習のみの参加であり、該当せず」と回答。

(空白ページ)

那須雪崩事故調査票 3

勤務校（大田原女子高等学校） 職・氏名（ 教諭・荒井徹 ）

【天候関係】

- 1 講習会の初日から3日目までの天候から、現地の雪崩の危険性についてどのように認識していましたか。
2日目のみの参加ですので、初日と3日目についてはわかりません。
2日目朝、スキー場レストハウスから第2ゲレンデ先の山にかなり多くの雪がついているのが見えた。今後気温が上がるか降雪があると、第2ゲレンデ側斜面に雪崩があるかもしれないと思いました。
講習会中は曇だったので、今日は雪崩はないだろうと思ったが、夜に大量の雪が降ると明日（3日目）にはどこかで表層雪崩が起こるかもしれないと思った。
 - 2 今回の講習期間中、那須岳に大雪に関する気象情報が出ていたことは把握していましたか。把握していたとすれば、いつ頃、どのような手段で把握しましたか。
把握していません
 - 2-2 把握していた場合、26日の時点で翌日の講習会について、どのような検討をしましたか。
講習会終了と同時に下山したので、検討には参加しておりません。
- 3から5までは、「3日目は参加しておりませんので、わかりません」と回答。